



平成29年宇佐市消防出初式



平成29年1月14日（土曜日）、宇佐市総合運動場グラウンドで、平成29年宇佐市消防出初式が盛大に開催され、宇佐市消防団（永田日出海団長以下711名）の消防団員と、宇佐市消防本部（奥秀則消防長以下68名）の消防職員が参加しました。

式典では、是永市長の式辞のあと、平成28年中に消防行政に大きな貢献をしていただいた方々へ感謝状と記念品が贈呈されたほか、永年消防業務に精励した消防団員へ永年勤続功労章が授与されました。

また、大分県知事代理の小野洋介大分県北部振興局長をはじめ、多数のご来賓の祝辞のあと、むつみ幼稚園の幼年消防クラブがマーチング演奏で出初式に華を添えてくれました。

出初式の最大の見どころである消防職団員による色鮮やかで勇壮な一斉放水のあと、宇佐市議会の井本裕明総務常任委員長による「火の用心三唱」で本年の無火災を祈念しました。



人員服装点検



出初式の華一斉放水



マーチング演奏

宇佐市消防団女性部の活動と募集



宇佐市消防団女性部15年表彰

私たち宇佐市消防団女性部も本年で16年目を迎え、現在13名が活動しています。女性部では毎月19日に例会を開催し、礼式訓練を実施したり、消防職員を交えて女性部の活動について意見交換をしています。

女性部の主な活動は、毎年行われる普通救命講習を受講して、心肺蘇生やAEDの取り扱い技術の向上に取り組むことと、春と秋の火災予防運動期間中に幼稚園や保育園を巡回訪問し、園児に紙芝居の読み聞かせや、防火ビデオの上映、「止まって・倒れて・転がって」の幼児防火教室を行うことです。そして、消防団の一番大きな行事である消防出初式では、アナウンスを始め、来賓の方々のご案内、来場者へのぜんざいのおもてなし等、慌ただしく動きまわっています。ぜんざいは200名分用意していますので、みなさんぜひ来年の消防出初式にお越しください。また、女性部への入団も大歓迎です。



消防団員普通救命講習



ぜんざいのおもてなし



防火教室

宇佐市救マーク認定制度を創設しました

AED設置施設

救命講習修了スタッフ常駐



救マーク認定施設

宇佐市消防本部



この制度は、自動体外式除細動器（AED）を設置し、救急事案が発生したとき迅速な対応ができる施設であることを認定します。

そして、その証として左図の「救マーク」を見やすいところに掲示していただきます。そのことにより、市民の安全・安心な生活を守るまちとしての環境整備を促進し、救急事案における救命率の向上及び応急手当普及啓発を目的とします。

認定の条件

- (1) 普通救命講習以上を受講した従業員等が、その施設の公開営業時間中に常時勤務し、速やかに応急手当が実施できること。
- (2) 救急事案が発生した場合、救急隊とスムーズな連携が行えるなど連携体制を構築した救急活動計画を策定していること。
- (3) AEDを設置していること。

スーパー、旅館、ホテル、観光施設、スポーツ施設、事業所など、不特定多数の方々を利用する施設への普及を考えていますので、ふるって申請してください。

期限は認定してから3年間で、更新も可能です。

問い合わせ先 宇佐市消防本部警防課 TEL 0978-32-0119